



2019年8月1日

文部科学省 令和元（2019）年度「大学の世界展開力強化事業
～日-EU 戦略的高等教育連携支援～」 採択決定
「近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム」
Erasmus Mundus Japan-Master of Science in Imaging and Light Extended Reality (IMLEX)

豊橋技術科学大学は、文部科学省「大学の世界展開力強化事業～日-EU 戦略的高等教育連携支援～」に申請し、採択されました。

本事業は、文部科学省と欧州委員会の共同で公募があり、日本側は大学の世界展開力強化事業、EU側はエラスムスプラスプログラム（うち、エラスムス・ムンドゥス・ジョイント・マスターデグリー（EMJMD））の枠組みで実施されます。EU側は、東フィンランド大学（フィンランド）が代表申請大学となり、ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、サンテティエンヌ ジャン・モネ大学（フランス）が連携大学となっています。また、日本側は本学が代表申請大学となり、宇都宮大学、千葉大学が連携大学となっています。補助事業期間は令和元（2019）年度から令和5（2023）年度までの5年間で予定されています。

「近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム（IMLEX: Imaging and Light in Extended Reality）」は、日-EU共同の修士プログラムとして、人の知識・経験・能力を拡張するクロスリアリティ技術（拡張現実，XR）を創造し、操ることができる人材を育成するために、その基盤技術を組み合わせた専門分野における学際的かつ革新的なプログラムを提供するものです。

IMLEXは、東フィンランド大学（フィンランド）と豊橋技術科学大学（日本）のダブルディグリープログラムやErasmus Mundusプログラムなど、20年間にわたるこれまでの教育研究連携を基盤に、ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、サンテティエンヌ ジャン・モネ大学（フランス）の4大学によるコンソーシアムによって実施されます。さらに、宇都宮大学および千葉大学がアソシエートパートナーとして、また、日欧のリーディング企業が産業界パートナーとして本プログラムに参画し、大学院教育における国際的な産学連携強化を目指します。

リンク：

文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/sekaitenkai/1419735.htm

日本学術振興会 大学の世界展開力強化事業 <https://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/>

European Commission

https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_19_4889

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506